

□議員名：恒松 恵子

1 小野田駅周辺の環境整備について

論点	小野田駅前地区都市再生整備計画の事業終了が迫っているが、進捗状況はどうか。
回答	平成30年度に公園のリフレッシュ工事と、老朽化した街灯を撤去してLED街灯を2基整備した。また、シンボルツリー2本のライトアップ整備も行い、計画していた事業は完了している。公園と市道については令和3年10月に完成予定である。

論点	令和元年12月の一般質問において、用地取得率98%との回答であった。その後の進捗状況はどうか。
回答	平成29年度から用地交渉を開始し、現在までに16名の方から約4,400平米の用地を取得した。残る用地についても、取得に向け継続交渉中であるが、昨年と同様に現在までの用地取得率は約98%である。

論点	工事が始まっているにも関わらず、整備計画の内容を知らない住民が多数いる。再度、地元で説明会を開く考えはないか。
回答	地元説明会を開催する予定はない。広報等の観覧板を通じて、地元へ周知を図っていく。

論点	計画の代表的な指標として、商店街通りの通行者数、区域内の居住人口の増加があるが、これについての評価や検証はどうするのか。
回答	評価については、都市再生整備計画評価委員会による事業効果の検証や指標を行う。実施時期については、全ての事業が完了後に行うため、令和3年12月頃に評価委員会を立ち上げてから実施する。

論点	駅を利用する市民のために、トイレの設置や観光情報提供スペースについて可能性はあるか。
回答	公衆トイレについては、JRの駅にトイレがあるので市民からの要望は届いていない。観光的なものについて他市の事例も聞いているがスペース的には難しい。観光パンフレットの設置等については可能であるが、課題である管理がクリアできたら対応したい。

2 学校教育環境の整備について

論点	第二次総合計画における現状と課題から、施設や設備の改修更新や老朽化対策が必要である学校教育環境の整備についてはどうか。
回答	学校は建築後30年以上経過している建物が約7割を占めている。重点的に進めてきた耐震化事業は全て完了し、老朽化対策については、年次的に改修している。今後、児童数の増加が見込まれる高千帆小学校は新校舎を建設する予定である。エアコンは市内小中学校の普通教室すべてに設置した。

論点	本市の小中学校のトイレ洋便器化率は全国平均から大きく劣る。学校トイレの洋式化の方針についてはどうか。
回答	建て替えや大規模改修の際にはすべて洋式化トイレを設置しているが、工事を行う見込みがないところは避難所となる屋内運動場のトイレを優先的に洋式化している。今後は計画的に洋式化を進め、快適なトイレ環境の向上に努めていく。

論点	家庭のトイレはほとんど洋式化されている。学校では排便教育をどのように行っているのか。
回答	排便教育という名称はないが、義務教育の中では必要であると考え、入学してきたときからトイレの使い方など子供たちに指導している。和式トイレについても、足の位置など掲示してわかりやすくしている。